

しちがはま

議会だより

No. 111

平成24年4月25日
宮城県七ヶ浜町議会



優しく強く
すこやかに

特集

平成24年度一般会計予算は

町政施行はじめての **129億円**

2

高齢化社会を支える **介護保険料の改正**

9

おらほの学校紹介シリーズ - 第1回 -

13

災害公営住宅の譲渡や定住促進など 8人が質問

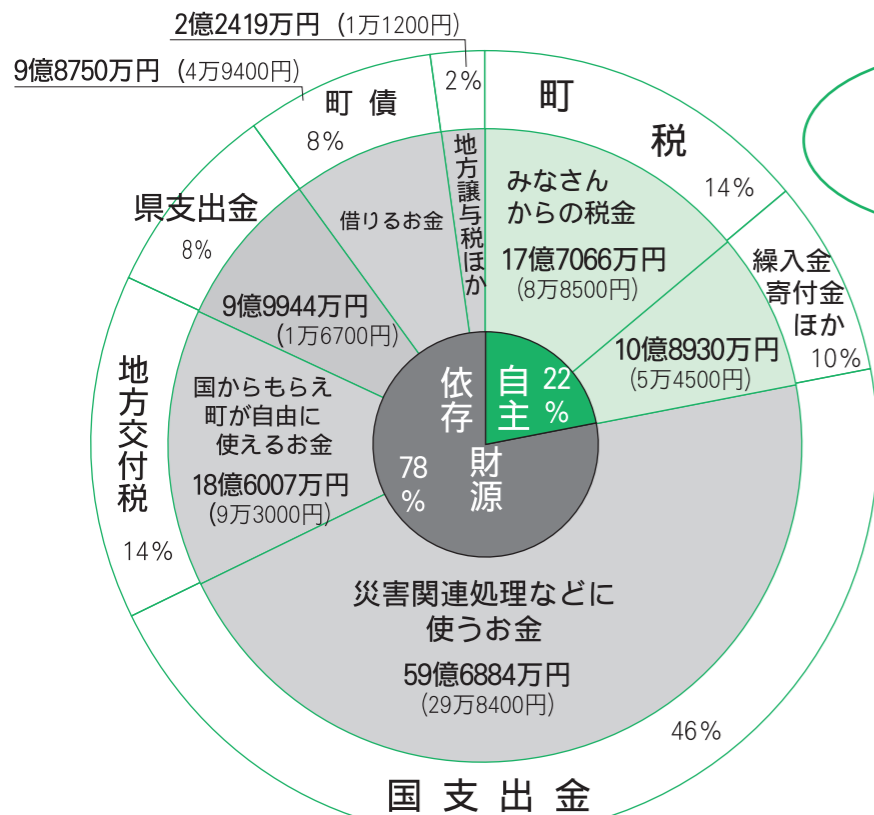
14

新生・七ヶ浜町へ

復旧・復興への確かな手応えを

平成24年度
予算

一般会計は **129億円でスタート**



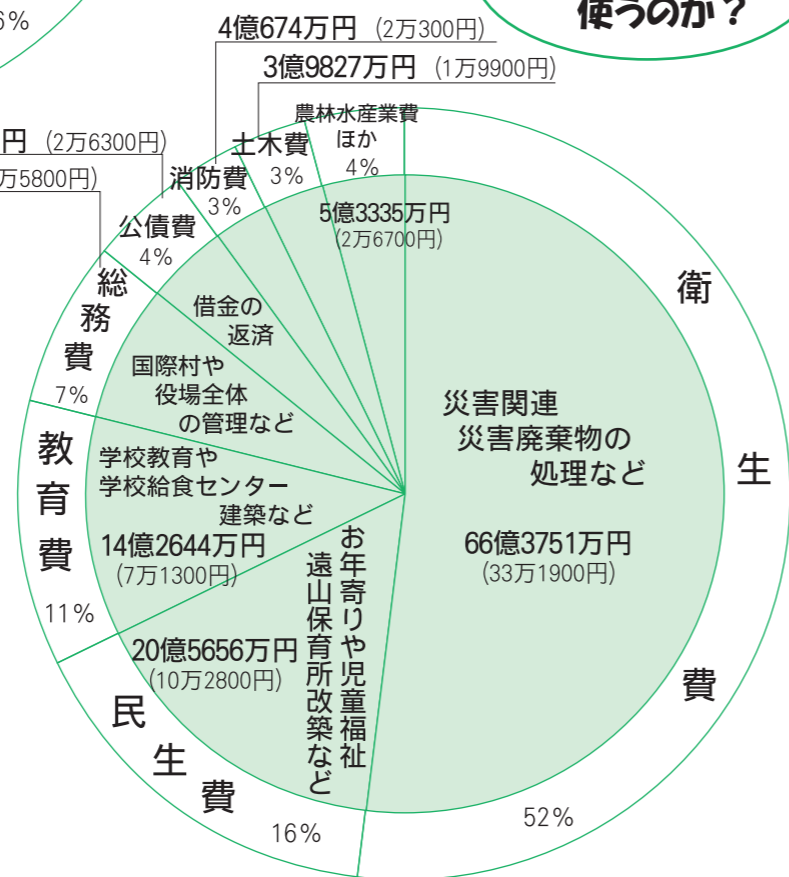
歳入

収入の内訳は?

金額は千の位で四捨五入してあり、合計に合わせて一部端数調整しています。
() 内の数字は、人口2万人で割った町民一人あたりのお金です。

歳出

どのように使うのか?



七ヶ浜サッカースタジアム(指定管理)

3月定例会は3月8日から21日までの14日間の会期で開催しました。今定例会は平成24年度予算を中心に、23年度補正予算やスポーツ施設等の指定管理者の指定など35件の議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。また、一般質問は8人が活発な議論を展開しました。

議会が注目する復興重点事業

教育費

7億2073万円

学校給食センター
被災した学校給食センターを遠山五丁目に建設します。



民生費

2億9196万円

遠山保育所
震災で被害を受けた遠山保育所を改築します。

災害救助
災害援護資金の貸付や災害弔慰金・見舞金に使用します。



衛生費

61億9234万円

災害廃棄物
震災で発生したがいき等の災害廃棄物の処理に使用します。



町長の施政方針と予算提案理由



渡邊善夫町長

平成24年度は、この大惨事を乗り越え、復興への第一歩となる年です。最優先となる被災された町民の生活再建はもちろんのこ、

施設の復旧等にも迅速に対応する予算です。長期総合計画の基本理念である「自然との調和により、人間らしく生き、快適で住みやすいまちづくり」を目指しながら、震災復興計画による新たなふるさとづくりに取り組むことといたします。

〈抜粋〉

どのように使われるのか

各課審査で質疑応答



待たれるがれき処理

大震災関連事業

がれき処理を県に委託 (56億円)
 処理量等の積算内容は、
環境生活課長 全体契約は約235億円、JFE他5社の共同企業体に発注され、本町の処理予定量(約31万トン)で按分している。

がれき撤去等委託 (4億8000万円)
 委託内容は、
建設課長 一次仮置場へのがれき搬入とコンクリート再利用の砕石費用等であり、月8000万円の6ヶ月分を計上している。

教育関連事業

遠山保育所改築 (2億9196万円)
 今年度から改築が始まるが、その財源は、
財政課長 財源の大部分はシンガポール赤十字社からの寄付を充てる予定としている。遠山保育所を建てるための資金とするよう指定されたものである。

学校給食センター建設 (7億2073万円)
 国庫負担が9700万円と少ないが理由は、
財政課長 災害査定を受けながら、校舎の建設と違い補助率が低いためである。



本年のインターナショナルデイズ

産業・観光・環境関連事業

青空市などへの補助金 (153万円)
 青空市、ボッケと収穫祭の本年度開催はあるのか。
産業課長 定着したイベントでもあり実施したい。場所等を含め商工会と検討中である。

国際村事業協会補助金 (2000万円)
 インターナショナルデイズにニュージーランドを選んだ理由。
国際村事業係長 23年度に予定していたが、ニュージーランドの震災、本町の被災で中止した。支援のため来町されたニュージーランド大使の申し出もあり、選定した。

花と緑のまちづくり (184万円)
 例年通り13地区に配るとあるが、被災地の対策は。
生涯学習課いきいき楽習係長 震災前の面積に花を植えた。修復済みの地区もあるが地区で検討してもらっている。



鈴木 初雄
副委員長



糸 久 博
委員長

平成24年度の各種会計予算審査は特別委員会(糸久博委員長)を設置して3月8日から19日までの日程で行いました。各課ごとに説明を受けたあと、質疑・応答により慎重に審査しました。主な内容を要約してお伝えします。

予算審査

復興への第二歩となる予算

平成24年度の主要な施策は「基本目標」に従ったとおりです。

- ◆ 自然と調和したまちづくり
 ◆ 復旧・復興事業の推進(ほのぼの農園復旧)
- ◆ 地球にやさしいまちづくり
 ◆ LED街路灯の設置
 ◆ 温室効果ガス削減取り組みへの普及啓発
- ◆ 健やかに暮らせるまちづくり
 ◆ 遠山保育所の改築事業の実施
 ◆ 認定こども園事業推進のための補助
- ◆ 活力あるひとを育むまちづくり
 ◆ 学校給食センター建設事業の実施
 ◆ 文化財標柱設置事業の実施
- ◆ ひととまちが協働し
 ともに築くまちづくり
 ◆ 「安心・元気なまちづくり補助金」の継続
- ◆ 安全で快適な生活を
 営むことのできるまちづくり
 ◆ 被災した消防資機材の充実
 ◆ 福祉や町内活性化を考慮した町民バス「ぐるりんこ」の運行
- ◆ 震災廃棄物処理の続行

住民と行政との信頼関係が構築されたまちづくり

- ◆ 事務事業の効率化等良質な行政サービスの提供
- ◆ 長期的なビジョンに立ったまちづくりの展開



たのしい保育所

一般会計

反対：応急仮設住宅の環境整備などが不十分
賛成：震災復興計画を効果的に反映した予算

討論

…なので反対します
 …だから賛成します

反対

歌川 渡

以下の施策を十分に反映していないので反対する。
 ○学校給食センター建設事業費の繰越明許計上が不適切
 ○遠山保育所改築事業の施設内容の説明が不十分である。
 ○木造住宅耐震工事助成で、推進するとの答弁だったが例年同様の予算である。
 ○応急仮設住宅の環境改善事業が不十分である。

賛成

我妻 周悦

被災での収収減少の中、129億円という町政施行以来最大の予算を組み、震災復興計画に沿ったまちづくりに取り組みようとしている。将来を担う子どもたちの健全育成と子育て支援に欠かすことのできない学校給食センター建設や遠山保育所の改築、さらに農水産業の振興、福祉の充実など基本方針に沿った予算となっている。

議決結果

賛成14 反対1
 賛成多数で可決



バルーン式投光機(防災機材)

防犯・防災関連事業

LED街路灯設置
(360万円)

問 みやぎ環境税交付金で150基設置するところがあるが、設置箇所はどこか。
答 環境生活課長 学校通学路(生涯学習センター周辺およびSEIYU前からかしま田園クリニクまでの町道)、県道(仙台火力から役場および汐見保育所から貞山橋)に7月頃の設置を予定している。

防災資機材保管施設
(3253万円)

問 アクアリーナ第5駐車場に建築する施設の規模は。
答 防災対策室交通防災係長 鉄骨平屋で150mを予定している。

町活性化関連事業

安心元気な地域補助金
(390万円)

問 今年度も継続することだが、仮設住宅のこともあり配分方法を変えるのか。
答 副町長 仮設住宅をひとつの地区としては考えていないので、従来通りの地区に配分する。

ぐるりんこ運行
(2878万円)

問 仮設住宅をまんべんなく巡る路線に変更できないか。
答 政策課まちづくり推進係長 3月の変更で仮設住宅の周辺にできるだけ止まるようにしたが、まだ不十分な所もあるのでさらに検討をしたい。



松ヶ浜小学校入学式

将来を担う子どもたち

平成24年度各種会計当初予算額

会計名	予算額	前年度比	
		増減額	率(%)
一般会計	129億0000万円	75億4300万円増	140.8
特別会計			
下水道事業	6億9500万円	1800万円減	△2.5
国民健康保険	21億2600万円	5300万円増	2.6
公園墓地事業	1611万円	10万円減	△0.6
介護保険	12億8595万円	4092万円減	△3.1
後期高齢者医療	1億4998万円	1004万円増	7.2
総額	171億7304万円	75億4702万円増	78.4
水道事業			
収益的			
収入	5億2449万円	1683万円減	△3.2
支出	5億2333万円	1512万円減	△2.8
資本的			
収入	50万円	13万円減	△20.6
支出	9503万円	1181万円減	△11.2



利用してます「ぐるりんこ」

下水道事業特別会計

反対 歌川 渡
 負担軽減のため料金の引き下げを求める。

国民健康保険事業特別会計

反対 歌川 渡
 一般会計からの繰り入れで負担軽減を求める。

介護保険特別会計

賛成 歌川 渡
 県財政安定化基金交付で保険料負担軽減を求める。

後期高齢者医療特別会計

賛成 岡崎 正憲
 75歳以上の高齢者負担の本制度の廃止を求める。低所得者には保険料軽減措置も実施されている。

水道事業会計

反対 歌川 渡
 白石川の取水計画中止と負担軽減を求める。

公園墓地事業特別会計

賛成 遠藤 久和
 震災に伴う給水戸数の減少に対応している。

条例改正

65歳以上の

介護保険料が

16.7%

基準月額4304円から5021円に

補正
予算

平成23年度一般会計補正予算（第7号、第8号）は歳入歳出それぞれ55億9673万円を追加し、201億6865万円としました。補正の主なものは、災害公営住宅の整備や備蓄倉庫建設工事などで、反対なく原案のとおり可決しました。

国より復興交付金が配分！
災害公営住宅など整備

質疑

問 第1回復興交付金事業費の配分割合は。

答 政策課長補佐 平成23年度から25年度分までで申請額の54.2%である。

問 支援職員用のパソコン購入はリースにできなかったのか。

答 震災特別復興での交付金が措置されたので購入する。

問 アクアリーナは被災して使用できなかったが、指定管理料を減額した査定基準は。

答 生涯学習課長 トレニングルーム機械レンタル料、クーポン券の換金などである。

問 環境放射線測定器が4台購入されるが、なぜこの台数なのか。貸出し先はどこか。

答 環境生活課長 本来の使用目的は、がれき置場2カ所の放射線測定である。予備の2台を有効活用として町民へ貸し出す。

問 松ヶ浜神明に建設の防災備蓄倉庫は、どのくらいの規模で完成はいつ頃か。

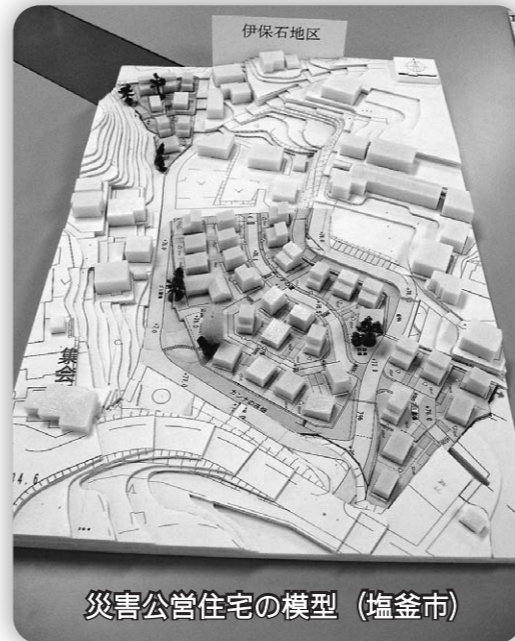
答 総務課長 規模は平屋で119㎡程度。平成24年度内には完成したい。

問 七ヶ浜中の体育館、武道館が復旧のための工事されるが、その間の体育授業などの場所の確保は。

答 教育総務課長 亦楽小の体育館と校庭を使用する。部活動は第2スポーツ広場や野球場が使えるよう指定管理者と話し合う。

おまな内容

一般会計	補正額
■歳入 国の補助金（東日本大震災復興交付金） 地方交付税 町債（借入金）を減額	56億2211万円 19億9728万円 ▲26億9250万円
■歳出 東日本大震災復興基金積立へ 健康スポーツセンター指定管理料を減額 支援職員用パソコン購入代へ 環境放射線測定器購入代へ 備蓄倉庫建設工事等へ 児童遊園災害復旧工事等へ 七ヶ浜中（体育館・武道館）災害復旧工事等へ	56億2211万円 ▲1億円 90万円 47万円 3153万円 1600万円 1852万円



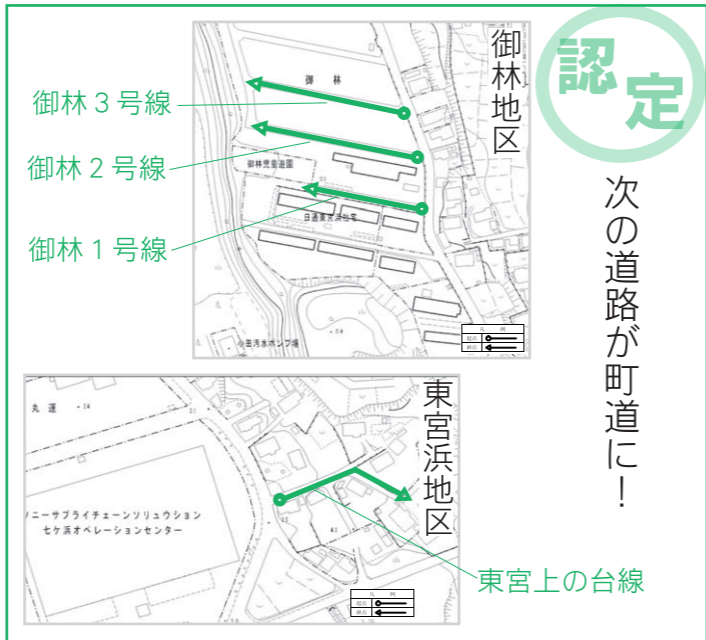
第1回復興交付金配分額

配分年度	金額
平成23年度分	6億8388万円
平成24年度分	31億4711万円
平成25年度分	17億9113万円

介護保険制度は、要介護者等の自立支援を目指し、社会全体で支援することを目的に平成12年度から始まりました。介護保険料は、3年ごとに介護サービスが必要を見込み設定しますが、七ヶ浜町の状況は高齢者の増加および東日本大震災の影響により介護を必要とする人や、介護サービスを利用する人が増えてきています。そのため平成24年度から26年度の第5期保険料は、介護報酬の改定に伴う負担が増えることもあり2市3町で最も高いものとなっています。

2市3町の保険料

七ヶ浜町	5021円
多賀城市	4960円
塩釜市	4860円
利府町	4536円
松島町	4300円



指定管理者が決まりました。

- 「スポーツ施設」に NPO法人 アクアゆめクラブ
- 「あさひ園」に 社団法人 七ヶ浜町 社会福祉協議会

期間
平成24年4月1日から
27年3月31日まで。

選挙管理委員に次の方が当選しました。

後藤 國勝氏（遠山）
我妻 建作氏（東宮浜）
星 七代氏（湊浜）
山本真理子氏（汐見台）

※4人の方は再任となり、任期は平成24年3月15日から4年間です。

契約

工事名	金額	契約先
北遠山污水ポンプ場	5670万円	豆機電(株)
菖蒲田污水ポンプ場	9282万円	(株)ウォーターエージェンシー 東北中央営業所
吉田污水ポンプ場	4704万円	
菖蒲田・松ヶ浜漁港	1億3219万5000円	みらい建設工業(株)東北支店



委員会レポート

これも議会の仕事です

特別委員会の審査方法を変更

これまでの予算審査特別委員会は本会議場で、各課ごとに15分程度の説明後ただちに質疑を行う審査でした。今回は大型予算規模（前年の2倍強）となり、これまで以上の慎重審査を行う必要性があり、説明と質疑を別の日に行いました。

今回の方法を検証し、より効果的な審査のあり方を模索して、町民の負託に応えていきます。

また、議会報告会を開催します。今回の議会日より持参いただき、より多くの皆様のご参加を期待しております。

議会運営

教育民生

七ヶ浜中学校建設が一步前へ

調査事項である「公共施設（教育・福祉）の復興策について」の調査は学校給食センター、図書センター、七ヶ浜中学校の3施設とすることに1月までの進捗状況を調査しました。

2月に生涯学習センターで行われた七ヶ浜中学校建設に伴う二次審査を傍聴しました。審査では各社から技術提案され、内容を補完する写真や模型を使用し説明されました。その後、非公開の評価委員による審査の結果、乾建築設計に決定しました。



乾建築設計の提案模型

議会報告会開催のお知らせ

開催日	場所	対象地区等	時間
5月21日(月)	東宮浜公民分館	東宮浜	18時30分から
5月22日(火)	湊浜公民分館	湊浜、松ヶ浜、仮設住宅の湊浜旧町営住宅跡地・松ヶ浜児童遊園	
	生涯学習センター（大会議室）	菖蒲田浜、仮設住宅の生涯学習センター前・第1スポーツ広場・七中グラウンド	
5月23日(水)	吉田浜コミュニティセンター	吉田浜、仮設住宅の町社会福祉協議会事務所下	
	遠山公民分館	遠山、境山	
5月24日(木)	国際村セミナー室	花淵浜、仮設住宅の国際村第2駐車場	
	汐見台第2分館	汐見台、汐見台南	
5月25日(金)	亦楽公民分館	代ヶ崎浜、亦楽、火力	
	要害公民分館	要害、御林	

漁業者の将来への不安

産業建設

2月、宮城県漁協七ヶ浜支所において、東日本震災に伴う漁業の再建策について七ヶ浜支所役員等と意見交換を行いました。復興会議への参加ができなかったことや、将来像が見えないことへの憤りを訴えられました。

漁協からの意見として組合への助成額15億6000



生きるために余儀なく転職

万円のうち1/6が組合負担で、この負担部分に他の自治体では独自の助成をすでに行っているようです。この助成も建屋への助成であり資材へのものではありません。網船に関しては激甚災害指定の助成があるもの、およそ3割の自己負担が伴います。

また、協業化へは補助されますが、個人で業種を変更して漁業に残って頑張ろうとしている方々には補助が該当しないなど現行制度の不備が指摘されました。

例のり養殖から刺し網漁への変更緊急的な要望は番屋設備などがありました。委員会としてさらに支援策を調査し対応していきます。

総務

雇用の確保や住環境の整備が不可決

調査事項である「災害に強いまちづくり（定住促進・人口増加策）について」昨年9月より取り組んできました。11月には亦楽地区、東宮浜御林地区など5カ所の新興住宅地域懇談会を開催し、テーマに沿った貴重な意見を拝聴することができました。平成24年1月に委員会を開催し、各地域から出された意見、各委員からの感想等を含め内容の総括を行い、一定の方向性を見い出せたことから、この所管事務調査を終了することとしました。委員全員で報告書をまとめ議長に提出、住みにくい点として指摘を受けた

●町内に勤められる職場（企業）が少ないことへの打開策

●交通の便が悪い町民バス「ぐるりんこ」の利便しやすい改善

●町営の集合住宅の不足や住環境の整備などを取り上げ、委員会代表として3月定例会で一般質問を行い（P18）町の考えをただしました。



町内にもっと就労の場を

震災特別委員会

災害時応急体制の整備

昨年10月に発足した本特別委員会は、議長を除く全議員で構成して活動しています。

9月に提示された「復興計画基本計画（骨子）」に対する意見等の集約と行政への申し入れを行い、さらに「復興計画」に示された居住系拠点等の現地視察などを行いました。また、議会の「災害時応急体制」を整

えるために議員の参集や責務等の要領を定めました。本年2月には仙台市在住の歴史家から「津波・歴史研究からの警告」と題した講演を受け、今後の防災対策に役立てることができました。今後、時間を要する本町の復興、まちづくりに寄与するため積極的に活動をしていきます。



現地視察

亦楽小学校

笑顔あふれる元気な町に！

～できることから小さな復興を～

亦楽小学校のゆめ議会のテーマは、「笑顔あふれる元気な町に！～できることから小さな復興を～」です。10年後の七ヶ浜町が、笑顔あふれる元気な町になることを願い、夢プランを作成しました。そのために今、小学生の私たちに何が出来るのかを考えて活動してきました。



ぼくたちの夢プラン
子どもを中心にしたい楽しい施設（遊園地、動物園など）や、お年寄りの方々が落ち着いて過ごせる温泉、大人が喜ぶボツケ、のりなどの七ヶ浜の特産品を売るお店や大型スーパーをつくりたい。施設の周りには、花や木などをいっぱい植えたい。そして、屋根には太陽光パネルをつけ、停電になっても自家発電できるように考えました。このように七ヶ浜にしかない楽しい場所をつくり、たくさんの人に遊びに来てもらう、これが僕たちの夢プランです。

自分たちにできること！
夢プランの実現へ向けて、自分たちでできることとして、「ぞうきん百枚プロジェクト」を考えました。亦楽小では、震災の影響で、掃除などで使うぞうきんが足りなくなっていました。そこで、六年生全員で、タオルを使ってぞうきんを百枚ぬい、全校に分けて使ってもらいました。また、感謝の気持ちを忘れないように「ありがとうプロジェクト」にも取り組んでいます。支援をしてくれた皆さんに、お礼の手紙を書くというものです。いつか、僕たちの夢プランが実現したら、支援してくださった皆さんを町にご招待して、楽しんでほしいと思います。



5年生に受け継がれた松小太鼓
3月8日に、「6年生を送る会」で松小太鼓の引き継ぎをしました。松小太鼓とは、松ヶ浜小学校に十年以上伝わる太鼓のことです。これまで力強く、楽しくたくたくことを目標にして6年生がたたいてきました。5年生には、震災で被害を受けた人たちにも元気で笑顔になってもらいたいという気持ちで、たたいてほしいです。そして、この松小太鼓をどんどん受け継いでいくことを願っています。

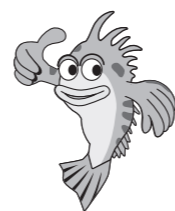


5年生による初めての演奏



6年生からばちの引き継ぎ

未来の美しい海のために
わたしたちは、この1年間「子どもゆめ議会」で提案した復興プロジェクトを実践してきました。支援していただいたところにお礼の手紙を送ったり、先日地震のあったフィリピンの子どもたちに向けてメッセージを送ったりしました。また、地域のごみ拾いのボランティアにも取り組みました。今後このような取り組みを続けたいと思います。そして、松小から見える海や港が一日でも早く復興してほしいと思います。また、津波で被害を受けた地域には公園などをつくって、新たな観光客を呼べる場所にしてほしいと思います。



ボーちゃん

一部事務組合ってなに？



のりりり君

行政が行う事務の一部を効率的に実施するため、生活圏にある市と町が共同で設立した組合のことだよ。生活圏を運営するお金は、構成している市と町が人口や実績などで決められた額を負担しているんだ。七ヶ浜町は3つの組合に加入して皆さんのサービスに努めているよ。

消防

塩釜地区消防事務組合 昭和45年に設立

皆さんの生命と財産を守ります。

【負担割合】人口と財政規模で算出

平成22年度の七ヶ浜町の負担金は2億7420万円でした。

24年度 当初予算 2億7566万円



七ヶ浜消防署

塩釜市
多賀城市
七ヶ浜町
利府町
松島町
の2市3町で構成

塩釜地区環境組合 平成9年に設立

環境

し尿や浄化槽の汚泥を処理します。

【負担割合】

維持管理：人口で10%、均等に10%、実績で80%
投資的経費：人口で40%、均等に10%、実績で50%

平成21年4月からは、塩釜斎場の管理運営も行っていきます。

平成22年度の七ヶ浜町の負担金は2100万4000円でした。

24年度 当初予算 2769万9000円



ごみ

宮城東部衛生処理組合 昭和45年に設立

家庭から出されたゴミを焼却、埋め立ておよび再資源化します。

【負担割合】

維持管理：人口で35%、均等に15%、実績で50%
投資的経費：人口割

平成22年度の七ヶ浜町の負担金は1億1526万円でした。

24年度 当初予算 1億1942万2000円



多賀城市
七ヶ浜町
利府町
松島町

の1市3町で構成

[塩釜市は単独で処理]

ひとロメモ
投資的経費とは施設の建設、改修などに充てるためのお金。



岡崎 正憲 議員

災害支援の広域連携は

町長 支援の絆を広域連携につなげたい

問 今回の災害支援では国内外を問わず数多くの市町村から物心両面の応援を受けてきた。以前から友好関係や名前が似ていることで本町にボランティアとして熱心に継続的に活動が行われた。今後、太平洋沿岸を中心にした大地震が取りざたされる中、災害を意識した広域的な連携についてどのように考えるか。

答 今回の災害支援では国内外を問わず数多くの市町村から物心両面の応援を受けてきた。以前から友好関係や名前が似ていることで本町にボランティアとして熱心に継続的に活動が行われた。今後、太平洋沿岸を中心にした大地震が取りざたされる中、災害を意識した広域的な連携についてどのように考えるか。

問 協定を結ぶにあたっては、役割分担と費用負担を明確にする必要があるのではないか。

答 今までは先方の申し入れに甘んじて来た傾向もある。明確化は必要と考えるので、相互の意見交換のなかで検討したい。

問 塩釜市など近隣市町村での協定や全国の石油備蓄基地関係市町村での協定があり、そのおかげでいち早い支援を受けることができた。

答 協定は考えられないか。支援を受けた鎌倉市七里ガ浜との交流もある。さらに山形県朝日町とは教育のみならず産業、文化等での友好町の締結、行政各分野の応援協定や交流分野の拡大を前向きに検討したい。

問 町長 行政のあらゆる分野や長期的なボランティアによる支援など多大な応援を受けた。全国的な大地震への対応が喫緊の課題であり、このたびの貴重な経験と教訓を活かし、広域的な連携を目指したい。本町への支援は国、県、民間の垣根を超えたものであり、様々なつながりで本町を訪れ支援していただき、

問 一部損壊住宅の修繕への助成実施を。

問 風呂追い焚き器具を県、国に要望を。

問 民間賃貸住宅借上げ期間の延長を県、国に要望を。

問 君ヶ岡公園交差点から国際村入口までの町道は土砂での汚れと土ぼこりがひどい。6月からとされる二次置場へのがれき搬出が始められる。一層の汚れが予想される。がれき置場出口での処置が大切であり具体的な対応策は。

答 町長 がれき置場出口にタイヤ洗浄プールを設置したが、凍結等で機能しなかった。今後散水車、路面清掃車、高圧洗浄車による清掃で対応したい。プールでタイヤを洗った後の洗浄機器導入の検討も進めたい。



七里ガ浜の支援活動

住宅の生活環境改善を 町長 被災者の生活再建を優先



歌川 渡 議員



被災者の生活に寄り添った環境づくりを

問 家具転倒防止器具取付補助事業の拡大を。

問 多額の財源が必要で難しい。

問 国会答弁で「緊急に検討する」とあり、認められるのでは。

問 民間賃貸住宅借上げ期間の延長を県、国に要望を。

問 被災者合意のもと、住宅浸水被害地区を土地区画整理で再建を。

問 町長 拡大の考えはない。

問 被災者の一部負担医療費免除のさらなる延長を県、国に要望を。

問 避難所となる学校、公民分館に太陽光発電施設、貯水槽、調理室等の設置を。

問 公費で高上げできる土地区画整理事業の導入を検討。

問 高台移転先地権者への事前説明等の対応は充分だったか。

問 被災者への支援の気持ちで、理解して頂く必要がある。

学校環境の充実を図れ 教育長 現在の体制で対応したい

問 カウンセラーの増員および常駐化を。

問 学校司書の配置を。

問 現在1・2名体制で対応している。



学校司書配置で読書に親しめる環境を



角 靖志 議員

夜間の避難のために照明を

町長 前向きに検討したい

問 夜間の災害時における住民や観光客などの避難のため、夜間の停電時でも灯りのつく照明や誘導灯を避難路に設置する。また、ゆめ議会で提案された災害時の避難経路などを示した看板を作った際には、夜間の停電時でも見えるようにする考えはないか。

答 町長 夜間や停電時にも避難誘導標識や避難看板を照らすことが安心・安全につながることを考えている。費用対効果も考慮し、今後設置をする場合は前向きに検討したい。

問 町内各地に海拔を表した標識があれば、住民や観光客などが現在自分のいる場所が海拔何mなのか分かる。また、普段から住民などが町内のどこが海拔何mなのかも分かり、津波の際の避難時の判断に役立つと思うが、設置する考えはないか。

答 宮城県が、津波の浸水状況を示す表示板の設置を進めている。県の表示板を参考にしながら、海拔標識であれば具体的にどのような基準で



夜間でも避難しやすく

問 一般廃棄物に関し、なかなか処理ができないが平成25年9月に完了するのか。町でできるものは県や国に委託せず町で処理できないか。勤められる職場や企業が少ないとの切実な声の打開策として処理をする企業を誘致することで、雇用税政の安定、出産や子育て支援等につながると思うが。

答 町長 一般廃棄物の処理は平成26年3月までに処理する。県に委託しており、既に焼却炉を建設している。企業がみずか

問 焼却炉での処分はダイオキシンや二酸化炭素が発生しオゾン層を破壊する。熱処理で有機物を炭素化し資源にする装置を国では蒸し器と言っている。町はこの試行事業として行う考えはないか。

答 そのような企業が町に来て、ああしたいこうしたいと言っている。町は

らの意思でやりたいのに町はダメと言う立場ではない。

問 湊浜砂山地区の震災時安全確保と津波対策の両面から災害対策としての仙台多賀城地区緩衝緑地公園に防災道路はできないか。

答 町長 歩行者の安全確保や交通渋滞の解消につながる。地区住民や企業関係者の避難に極めて重要な幹線であるため、復興まちづくりの動向を見極めたうえで県に継続的に要請したい。

町長 県に継続要請

湊浜地区の防災道路は

問 湊浜砂山地区の震災時安全確保と津波対策の両面から災害対策としての仙台多賀城地区緩衝緑地公園に防災道路はできないか。

答 町長 歩行者の安全確保や交通渋滞の解消につながる。地区住民や企業関係者の避難に極めて重要な幹線であるため、復興まちづくりの動向を見極めたうえで県に継続的に要請したい。



防災道路にならないか

町長 英語活動を継続して取り組む

外国語教育研究の活し方は

問 本町では3年間にわたり、文部科学省指定教育研究開発事業（外国語教育関係）を行ってきたが、この研究によって得た成果および課題を平成24年度からどのような活かしていくのか。

答 教育長 指定校の成果を引き継ぐために、平成24年度各小学校は、

英語活動を1・2年生で年間10時間程度、3・4年生で年間15時間程度、5・6年生は一週間に1時間、年間35時間の指導を行い、今後も継続して実践に取り組む。

問 小学校の段階で英語嫌いになったり、英語に苦手意識を持った児童が出てはいないか。そ

のような児童に対してはどのような対応をしているのか。

答 担当する先生方は、どの子どもが英語好きで、どの子どもが英語嫌いかを把握している。そういう子どもに対して、きめ細かな配慮をして指導している。

一般廃棄物(がれき)処理を町で

町長 県に委託している



遠藤 喜二 議員



いまだに残るがれきの山

大家族の居住空間改善を

町長 空き部屋の順番待ち

問 三世代六人家族の夫婦のプライバシー確保や処遇改善は。

答 町長 空き部屋が出たときには二世帯に分けたりして対処している。

問 仮設入居者負担での追い焚き機能取付は。

答 県では推奨はしないが、個人負担は仕方が条件である。



千葉志美枝 議員

定住促進・人口増への対策を

町長 雇用の確保や住宅の整備を図る

問 東日本大震災以降、町外への移転などで人口が減少しており、これらに歯止めをかける定住促進、人口増加策が急務である。本町に住みやすい魅力の一つに風光明媚な景観があるが、震災で失われた自然環境をどのように再生するのか。

答 町長 震災復興計画に基づき七つの浜の美しい海を取り戻したい。被災地域の津波防災公園・防災林の整備など安心・安全も考慮した美しい景観の再生に取り組む。

問 人口増加への対策には子育て環境の整備も不可欠である。これまでも様々な施策が成されてきたがさらなる支援策を講じる考えは。

答 若い子育て世代への一時保育や認定子ども園への補助、社会福祉協議会と連携し協力員との託児サポート事業などを進めている。今後産み育てやすいまちづくりに取り組むたい。

答 松ヶ浜漁港内に宮城県水産技術センターの種苗生産施設の立地が内定。水産関連施設の誘致や、県漁協七ヶ浜支所を中心とした第6次産業化の可能性を検討しており雇用の促進に努めている。



豊かな自然の中で元気にプレー

答 現在、乳幼児医療費の無料は6才までが対象年令である。小学校3年生までの拡大を望む声もあるが。

問 住民の足としてかかせない「るりん」の朝晩の通勤、通学者に利用しやすい増便等の見直しを図る考えはないか。

答 現有の4台をフル稼働させているが、バス数の台数と乗務員に限りがあり現段階で増便への対応は難しい。利用状況の推移を踏まえ随時検討していく。

問 今回、被災した人が入居する災害公営住宅が建てられるが、環境の整備は他への人口流出の一番の歯止めになると確信する。一般町営住宅も含めどのように対応していくのか。

答 町営住宅は津波浸水エリアのため解体し、新たに松ヶ浜西原他5カ所に復興交付金を活用した災害公営住宅の整備を計画している。入居希望者は推計で250世帯であり、本町に住み続けられる定住促進を図っていく。

長期的なまちづくりの施策は

町長 6次産業化のエリアを検討中



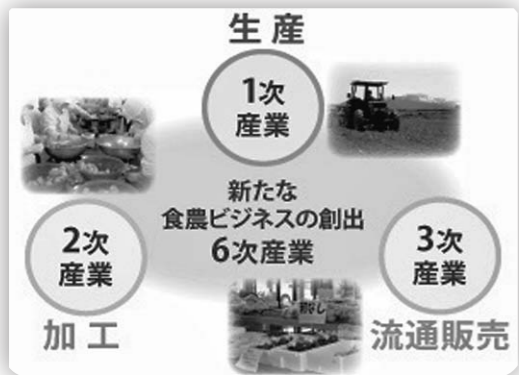
郷右近剛史 議員

問 町長の施政方針で、「平成24年度は、東日本大震災の復旧・復興事業を最優先にしながらも、長期的ビジョンに立ったまちづくりに取り組みたい」とある。今年度特に力を入れて取り組む長期的な施策は具体的にどのようなことか。

答 町長 平成24年度の最重要施策は震災復興で、今後長期的においても震災復興に関するすべての施策に全力で推進する。また、長期総合計画を推進する。平成24年度においては、前期総合計画の2年目で43事業を示した。すべての事業は必要不可欠なもので、長

問 「被災者はゴールの見えないマラソンをしているようなもの」であり、被災者に勇気と希望を与え、震災復興事業に付加価値がつくような新たな事業の考えはないのか。

答 検討段階であり、実は現はまだ不透明である。花洲浜館下地域の土地を買い上げ、6次産業化を中心としたエリアに設定したい。今、関係機関と協議している。七ヶ浜町の震災復興の目玉になればと考えている。



震災復興の目玉に

小中一貫教育の計画は

教育長 決定事項ではない

問 七ヶ浜町震災復興計画の中で「将来的な小中一貫教育の導入について検討を進めます（亦楽・七ヶ浜小中一貫校など）」とある。七ヶ浜中学校の建設に伴い、今後この計画がどのように進んでいくのか。

答 教育長 将来の亦楽小学校建設の際に、中学校の校舎と連結する構想を持って、新しい七ヶ浜中学校を建設しようとする考え方で小中一貫校は決定事項ではない。

問 亦楽小学校建設問題が発生するであろう10年後が実施の時期というところでよいのか。

答 小中一貫校が全国的な流れなので、10年後あたり、そういう姿にまよっていらればというスタンスである。

中学校武道教育の安全対策を

教育長 現在の体制で対応したい

問 4月から新学習指導要領の実施で、中学校の体育の授業で武道教育が必修化される。生徒の安全対策をどのように考えているのか。

答 教育長 柔道を選択し、年間10〜15時間の学習を予定している。文部科学省が発表した「武道必修化に伴う柔道の安全管理の徹底について」を参考に、校長会を通して安全指導を求めていく。



安全に学ぼう

問 柔道の授業で、最初から補助員をつけるべきではないか。

答 校長会で方向をさぐっていききたい。



鈴木 勝美 議員

災害公営住宅の譲渡は

町長 木造は5年以上で可能

問 葛浦田浜地区に予定の公営住宅の構造はRC建てと聞いているが何階建てか。他の地区は木造か。集合長屋タイプか。

答 町長 葛浦田浜地区に現在90世帯を越える希望者がいる。鉄筋コンクリート造りを計画している。他の地区は木造を予定している。予定戸数を大幅に上回る場合、構造、敷地の見直しをする場合もある。

問 公営住宅法規定により譲渡は可能である。東日本大震災復興特別区域法による特別措置により、木造住宅は耐用年数が30年であることから6分の1の年数の5年以上経過で可能である。

問 少子高齢化の現在一人暮らしが増えていく。4・5人程度のグループ方式（共同住宅）の建築は考えられないか。

答 住民の意向調査ではグループ方式等の要望は出ていない。プライバシーの問題もある。今後要望があれば検討したいと考えている。町では高齢者に対し必要に応じて、日常の生活指導、安否確認、緊急時における連絡などのサービスをを行う支援制度がありこれらにより現実的と考える。

問 これまで災害復興住宅再建に向けた取り組みを視察。石巻市北上ではいち早く取り組み23年12月に完成。地元経済の活性化のために地元事業者への対応を望むが。

答 地域に寄り添った形で対応したい。

問 住民との意見交換会で二重ローンや高齢者への銀行融資が難しく家が持てるかを心配する話が多かった。町では災害公営住宅を戸建てにし、将来個人所有になる対策は考えないか。

問 農業用水は沼などを利用し雨水を貯め、ポンプで汲み上げ利用する循環型の利水システムを築きあげた。この震災で破壊され必要水量確保ができず、除塩作業も滞る状況にある。雨水を貯める場所の確保や利水計画と治水計画を一体とした検討が必要だが町の考えは。

問 雨水対策として、一時的貯水量の増量やポンプ排水力の強化等の対策も考える必要があり、県事業等とすりあわせ方を現在検討している。農業用水も雨水排水と一体で検討し、治水方針の中で総合的に調整する。

問 震災の影響により各スポーツ施設が閉ざされている。成長期の子どもたちにとって体力の低下が心配されるところである。現在、第2スポーツ広場の練習は小型発電機の照明で行っている。仮設ナイター設置の考えはないか。

問 第2スポーツ広場にナイター設備を協議し検討する

答 町長 第2スポーツ広場への照明の設置は、指定管理者のアクアゆめクラブおよび各スポーツ団体と協議し検討する。町民の心身の健全な発達と福祉の増進に努めていきたい。



将来の家族構成に対応できる造り

町全体の治水計画は

町長 都市防災総合事業で実施



渡邊 淳 議員

問 震災による沿岸部の地盤沈下により大潮高潮の影響を受け、また地球温暖化に伴う局地的なゲリラ豪雨が大規模浸水被害をもたらす。総合治水計画の町の考えは。

問 震災による沿岸部の地盤沈下により大潮高潮の影響を受け、また地球温暖化に伴う局地的なゲリラ豪雨が大規模浸水被害をもたらす。総合治水計画の町の考えは。

問 震災による沿岸部の地盤沈下により大潮高潮の影響を受け、また地球温暖化に伴う局地的なゲリラ豪雨が大規模浸水被害をもたらす。総合治水計画の町の考えは。

答 町長 代ヶ崎浜清水地区のように宅地が低く、液状化が発生している地域は宅地部分を含め被災市街地復興土地地区画整理事業による面的整備を検討している。指摘した考え方も検討し調整していく。

答 町長 総合治水施策は、都市防災総合推進事業の中で避難計画やハザードマップ作成に関連し治水方針をまとめ、復興まちづくりとあわせ本町の治水計画をする。

答 町長 緑地整備に関する都市公園事業と県の治山事業による一体整備を実現したい。緑地整備後の維持管理方針は県との役割なども含め盛り込みたい。伐採にご協力されたボランティアの方々なども含め、ワークショップを平成24年度に開催し、森林インストラクター協会の参加も考えられる。指摘されているすべてのアイデアを幅広く取り入れながら防災緑地の整備を含めた復興まちづくりを進める。



これで雨水がはけるか

森林計画の策定を

町長 森と公園の一体整備

問 壮大な森の防災林は津波防御を目的とした森の造成が必要で、森を育てるには時間と手間がかかる。苗の種類、量、長根の苗、抵抗性松の入手方法など、こうした森林整備に向けた計画が必要となる。外部からの協力をお願いし実現化させてゆく検討が必要である。次に管理について、防災林に育てるには、植林、刈り払い、除伐、追肥などの管理が必要である。例えば、企業の社会的貢献活動に組み入れられないか、森林インストラクター協会への協力要請など震災支援交流のあった全国のボランティアへの協力をお願いができないか検討が必要と考える。また壮大な森を活用し生産地区に指定し、松林を利用した、キノコ類の栽培など、町に新たな産業を取り入れ、町の活性化につなげたい。このことから森林計画と管理計画の策定が必要と考えるが、町の考えは。

答 町長 緑地整備に関する都市公園事業と県の治山事業による一体整備を実現したい。緑地整備後の維持管理方針は県との役割なども含め盛り込みたい。伐採にご協力されたボランティアの方々なども含め、ワークショップを平成24年度に開催し、森林インストラクター協会の参加も考えられる。指摘されているすべてのアイデアを幅広く取り入れながら防災緑地の整備を含めた復興まちづくりを進める。

町民の声

横田 奈奈さん
(遠山)



感謝の思いを笑顔で

大震災から1年が過ぎ今改めて思う事は、日本のみならず、世界中の方に応援を頂き今日まで来たという事です。ボランティアの方においては遠く離れた地から七ヶ浜へと足を運び、東北へ来たのが初めてという方も少なくありませんでした。私だったら、これほどまで時間と力とお金を使い誰かを応援できるのかと何度も考え、頂いた応援に感謝してもし尽かせないです。七ヶ浜においては1年が経過した現在もたくさんの方に応援してもらっています。感謝の思いと恩返しの意味も込めて、力強く元気になった七ヶ浜の姿と私たちの笑顔を近い将来、見せられたらと強く思います。



レスキューストックヤードの皆さんと

町民の皆さんからお寄せいただいたご意見、ご要望などを紹介いたします。どしどしお寄せ下さい。お待ちしております。

3.11大震災の日に生まれた阿部一花ちゃんのお母さん(香紀さん・境山)へインタビューをしました。
(表紙写真)

Q 大変な中でのご出産でしたが当時の様子をお聞かせください。

A 私は午前中に女の子を出産し病院のベットのの上であの大震災に遭いました。そのあとは分娩室が使えなくなり一般病室で産むなど混乱してありました。5日間で退院しましたがガス、水道、電気が全部止まり赤ちゃんをお風呂に入れてあげることもできませんでした。

Q 震災発生日とわが子の誕生日が一緒ということにどんなお気持ちですか。

A 私のおばあちゃんが石巻で津波にあって亡くなりました。悲しみと喜びが交差し娘の誕生を大きな声で祝えない心境にかられました。

Q 一つの花と書いて一花ちゃん^{いちか}と名付けましたがお名前にどんな意味が込められているのでしょうか。

A 世界に一つだけの花という歌がある様に大変な時だからこそ一つの希望の花になって欲しいとの想いを込め私が命名しました。

Q 将来一花ちゃんに生まれた日のこと、どのように伝えていきますか。

A 大変な事態の中でもたくさんの人たちが祝ってくれたこと、周りの多くの方々に支えられた絆の大切さや感謝の想いを伝えていきたいと思います。



議会を監視するのはみなさんです。

一次の定例会は6月13日開会予定です

面倒な手続はございません。どなたでも気軽に傍聴することができます。ぜひお越しください

詳しくは議会事務局まで TEL 357-7435

または、町ホームページ「町民便利帳」をご覧ください。 <http://www.shichigahama.com>

編集後記



一年以上が経過しました。あの大津波に襲われた大震災から。復興を「福光」へと願うばかりです。

期待を込めて応募した108号が、町議会広報全国コンクールで奨励賞を受けました。5年連続の入賞です。

一ページずつめくっていくといつもと違う感じにお気付きだったでしょうか。今回から読者が作るページを設けました。二つの小学校の記事が載りましたがいかがでしたか。

会えば私たち編集委員はいつも議会だよりの紙面づくりを真剣に話し合っています。

千葉志美枝
議会広報編集特別委員会

委員長 岡崎 正憲

副委員長 糸久 博

委員 角 靖志

委員 千葉志美枝

委員 遠藤 喜二

委員 渡邊 淳

発行責任者
議長 佐藤 梶信